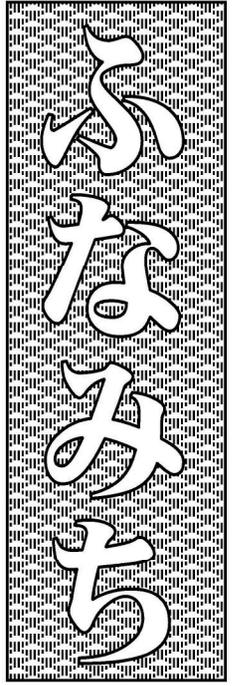


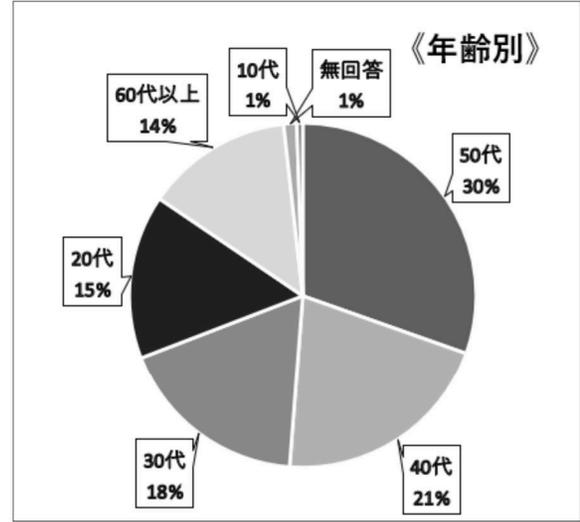
22春闘アンケート

人員不足とサービス残業が課題



2022年
3月24日(木)
第3556号

船橋市役所
職員労働組合
発行責任者
青木 賀一
編集責任者
榊 義明
Tel.047(436)3093
Fax(436)3091
Eメール
f-kumiai@alpha.
ocn.ne.jp



毎年、実施している「春闘アンケート」ですが、今年も昨年同様、「コロナ禍でのアンケート」という事で、質問項目に「コロナ感染症に関する項目が入っていました。」

男女比では30・3%が男性、67・3%が女性で、昨年のアンケートより女性の比率が多くなっています。

年代では(上記円グラフ)50代が30%、40代が21%で、40・50代

組合は、1月20日～2月17日「働くみんなの要求・アンケート」(22春闘アンケート)に取り組み、904名の方からご協力頂きました。今年度は、会計年度任用職員の方にもご協力頂き(昨年は会計年度任用職員独自アンケート)回収数が昨年より多くなっています。アンケートへのご協力ありがとうございました。アンケート結果の抜粋を掲載します。

「あなたの生活実感は？」の問いに対し「かなり苦しい」「やや苦しい」と答えた方が32・9%にも及び昨年より増えています。

「あなたの家庭で、月額どのくらい必要？」の問いに対し「3万～5万」と答えた方が54・5%にもなっています。

この間の給与削減、マインスマン勧が大きく影響していると思われます。

この間の給与削減が影響

職種では、行政職と技術職で43・5%、福祉と保育職で32・0%、現業職で13・5%、公衆衛生3・7%、医療職2・1%、教育、その他続きます。

雇用形態では、正規・再任用職員が57・1%、会計年度任用職員が41・4%となっています。

「仕事や職場について、特に不満や不安に感じることとは？」(複数回答)の問いに対して、昨年は「人手が足りない」がトップでしたが、今年度は「賃金が安い」がトップになっています。(左記棒グラフ)

今年のアンケートには、会計年度任用職員の集計が入っていることが影響していると思われます。

一方「あなたの職場の人員は足りていますか？」の問いに正規職員の68・1%の方が「足りていない」と答えています。

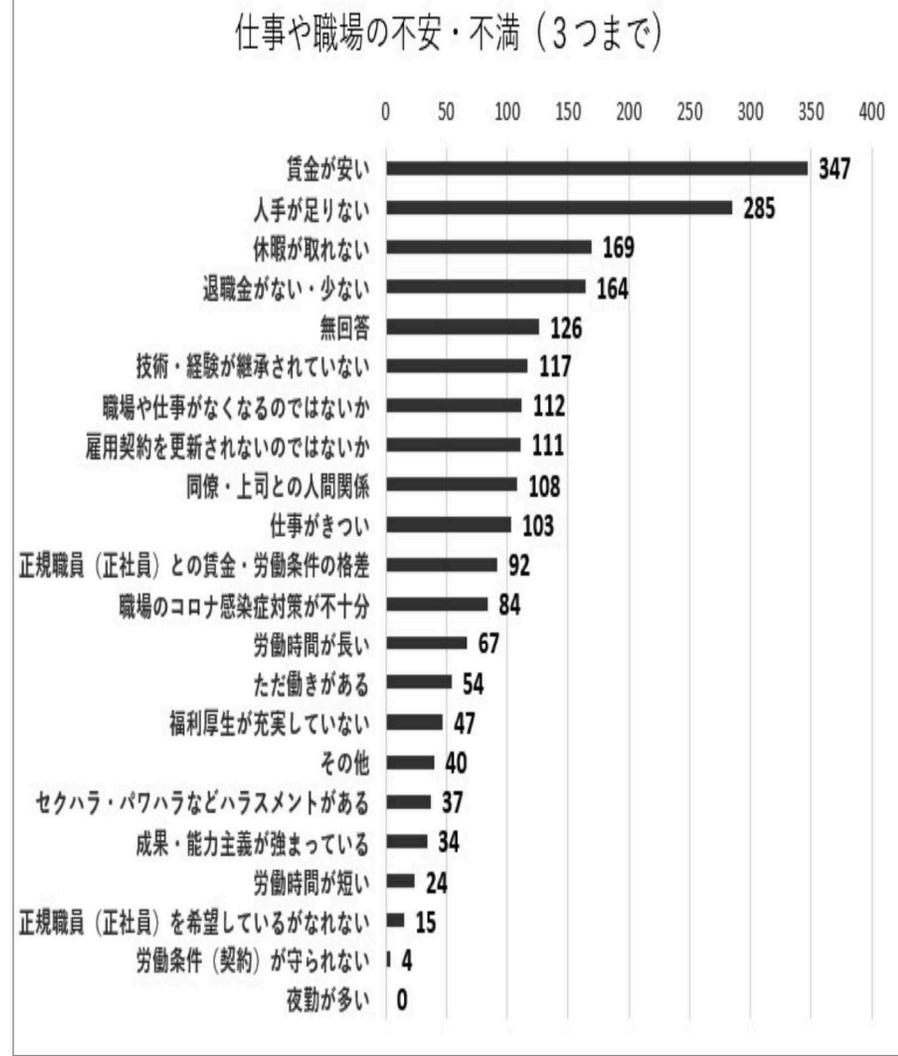
で半数を占めているのが今年の特徴です。

「賃金が安い！人手が足りない！休暇が取れない！」

「仕事や職場について、特に不満や不安に感じることとは？」(複数回答)の問いに対して、昨年は「人手が足りない」がトップでしたが、今年度は「賃金が安い」がトップになっています。(左記棒グラフ)

今年のアンケートには、会計年度任用職員の集計が入っていることが影響していると思われます。

一方「あなたの職場の人員は足りていますか？」の問いに正規職員の68・1%の方が「足りていない」と答えています。



「コロナ禍で、仕事に忙殺されている保健所の回答数が少ないにも拘わらず、この数字です。保健所に応援を出している課も、ぎりぎりの人数で仕事をこなしている現状が見えてきます。

「人手不足で仕事がつらく、休暇も取れないのに給料が安い」という現実が現れている集計結果となっています。

この様な職場環境にも関わらず、仕事にやりがいがある「非常にある」「まあまあある」と答えた方が76・5%もいます。

当局は、職員の努力や工夫、意気込みに頼るのではなく、賃上げ、人員増、職場環境の改善に誠意を持って取り組むべきです。

「仕事や職場について、特に不満や不安に感じることとは？」(複数回答)の問いに対して、昨年は「人手が足りない」がトップでしたが、今年度は「賃金が安い」がトップになっています。(左記棒グラフ)

今年のアンケートには、会計年度任用職員の集計が入っていることが影響していると思われます。

一方「あなたの職場の人員は足りていますか？」の問いに正規職員の68・1%の方が「足りていない」と答えています。

「賃金が安い！人手が足りない！休暇が取れない！」

「仕事や職場について、特に不満や不安に感じることとは？」(複数回答)の問いに対して、昨年は「人手が足りない」がトップでしたが、今年度は「賃金が安い」がトップになっています。(左記棒グラフ)

今年のアンケートには、会計年度任用職員の集計が入っていることが影響していると思われます。

一方「あなたの職場の人員は足りていますか？」の問いに正規職員の68・1%の方が「足りていない」と答えています。

残業者の約3割の方がサービス残業

「直近1ヶ月の残業実態について」の問いに対して、50%以上の方が残業有りと答えています。今回のアンケートの中には、100時間以上の残業をしている方も2人ありました。(保健所には、過労死ラインを超える残業をしている方がたくさんあります。)

「直近1ヶ月の持ち帰りも含むサービス残業は？」の問いに常勤の27・3%、なんと3割近くの方がサービス残業をしたと答えています。

昨年のアンケートでは5割を超えていたのですが、この間の組合交渉でのやりとりで、改善傾向が見られたと言つことでしょうか？

しかし、例えば1分でも不払い残業(持ち帰りも含むサービス残業)は、絶対にあってならない、労働

基準法違反の違法行為です。

当該職場の管理職は、法律違反が発生している自覚を持ち、早急に改善すべきです。

超勤手当 「申請」 雰囲気

「サービス残業や不払い残業が生じた主たる理由は？」の問いに対して、「申請しづらい雰囲気がある」と30・4%の方が答えています。

これは、サービス残業をしている理由の大きな問題です。(上記棒グラフ)

職場が忙しくギスギスしていて申請する雰囲気がないのか？パワハラがあり申請しづらいのか？いずれにしても、管理職による職場の雰囲気の改善を図るべきです。

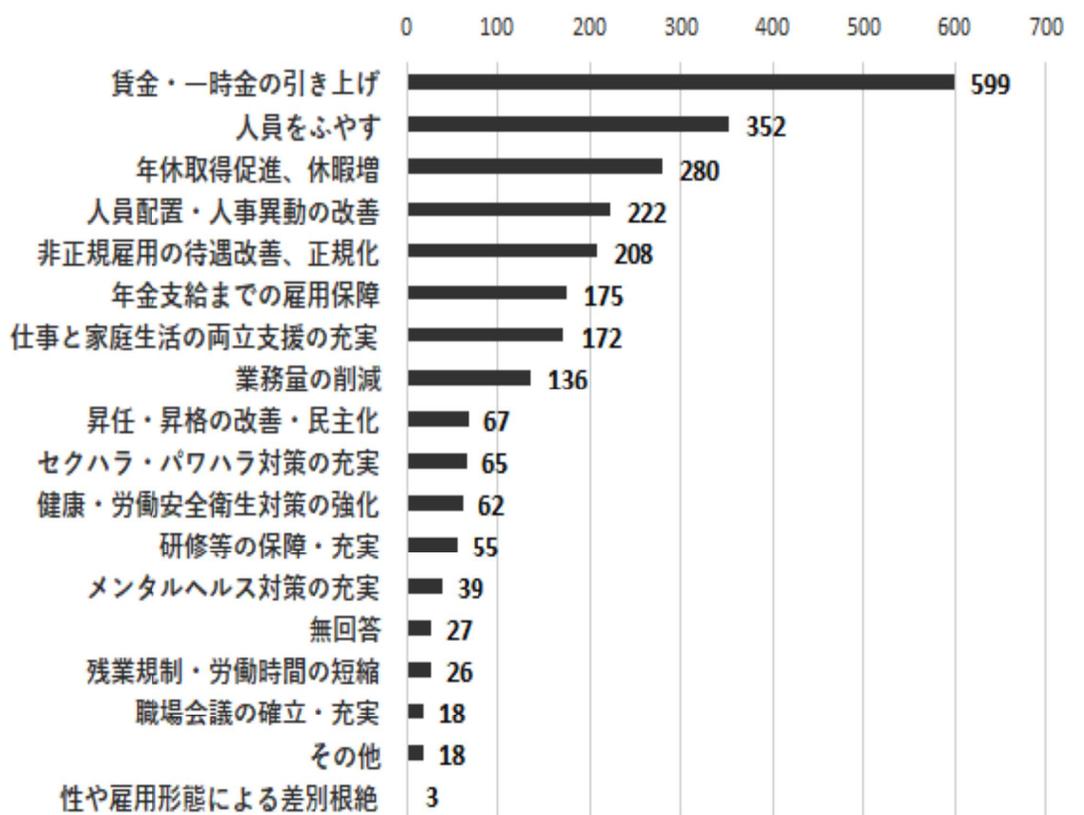
そして、「自分の仕事が遅いため」と諦めている方が47人もあり、これも大きな問題です。

個々の能力に関係なく、仕事で残った場合は全て超勤の対象になりますので、必ず申請しましょう！

今後見直すべき職場環境は、「賃金」「人員」「休暇」

「職場の働く条件の改善で、もっとも実現したいものは？」の問いに(下記棒グラフ)賃金・人員・休暇と続き、「仕事や職場についての不満や不安」と同じ動きになっており、自由筆記欄にもたくさん意見が出されていきました。

今後見直すべき職場環境 (3つまで)



感染しても仕方ない職場環境です。(本庁職場)

◆こんなに頑張っている職員に「感謝している」だけ、そして人勧通りの給料引き下げはあまりにひどい話です。働く意欲を無くすような事を平気で言う人達には、意思つても無いのでしょうか？(学校職場)

◆このままでは、職員がどんどん組合では、アンケート結果を反映した22春闘要求書の取り組みを進めていきます。